

とほかんたより(学而) No. 84

2007.1

「学而」 = 学而時習之、不亦説好乎。(「論語」より)

- 学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずや -

* 題字は 森本学長による

第1回(2006年度)摂南大学図書館書評大賞決定!

第1回(2006年度)摂南大学図書館書評大賞には30篇の応募がありました。

各学部選出の図書館運営委員の先生方による厳正な審査の結果、次の受賞者が決定しました。

大賞(1名)

氏名(所属)	岡田 圭祐(薬学部 2年)
対象図書	「ビタミンF」 重松清 著

優秀賞(2名)

氏名(所属)	鄭 善姣(大田大学校留学生)
対象図書	「涙そうそう」 吉田紀子他 著
氏名(所属)	雨森 和恵(国際言語文化学部 3年)
対象図書	「ハゴロモ」 よしもとばなな 著

佳作(3名)

氏名(所属)	藤本 優介(薬学部 3年)
対象図書	「金持ち父さん貧乏父さん」 ロバート・キヨサキ、シャロン・レクター 著
氏名(所属)	寺山 美沙(国際言語文化学部 3年)
対象図書	「風味絶佳」 山田詠美 著
氏名(所属)	佐原 由起(国際言語文化学部 3年)
対象図書	「しあわせスイッチ」 山田スイッチ 著



応募してくれた学生のみなさん! ほんとうにありがとうございました。応募期限の直前までに集まった書評の数は8篇。せめて2桁の12~13篇にはしたい、というのが担当者のホッネでした。応募期限の当日、その数は30篇に達しました。感謝!! です。

そして、30篇の応募作品に目を通しました。率直な感想として、こんなに立派な文章を書ける学生がいるんだ! (失礼)と驚きました。言語表現技術とはなかなかどうして結構むずかしいもの。ましてや、他人に自分が感じたと同様にそのままの内容を伝えることは至難の業。そんなことを応募してくれた学生

のみなさんは感じたのではないのでしょうか。

審査は図書館長および図書館運営委員の先生方に、応募者の所属・氏名・学年を伏せて作品のみを対象としてみていただきました。30篇の作品は、まず、第1次審査で20篇に絞り込みをおこないました。さらに第2次審査では、各委員の先生方に序列をつけていただき1位から20位までを決めていただきました。さらにそれを集計する形で上位6名の入賞者を決定しました。

なお、受賞作品は「書評特集」としてあらためて別紙面で紹介する予定です。

最後に大賞の審査に多大な労力と時間を割いていただいた図書館運営委員会の大家重明先生、美川圭先生、牧野純先生、中室克彦先生、亀井紘先生をはじめ、学内関係者のみなさん、快くご協賛いただいた株式会社紀伊國屋書店、丸善株式会社、株式会社ジュンク堂書店に厚く御礼申し上げます。

CONTENTS

第1回摂南大学図書館書評大賞決定!	1	おもしろ図書館実行委員による図書の選書 ...	3
秋の講演会特集「中西 悠子 氏 講演」	2	INFORMATION	4
秋の講演会特集「檜山 和司 氏 講演」	3		





「秋の講演会」特集



わたしはこうしてオリンピックで活躍することができた ～夢をいかに実現するか～

中西悠子氏講演



10月3日(火)14時30分から15時40分、図書館・地域連携センター共催による中西悠子氏の講演会がプチテアトルで開催されました。中西氏はすでにご承知のとおり200メートルバタフライでオリンピックをはじめ各種競技大会でメダルを獲得した日本水泳界のスターです。

当日は森本学長の挨拶に続いて中西氏の講演が始まりました。彼女が0歳からベビースイミングを始め、高校生の時から日本代表として活躍する競技生活を淡々と語っていきます。「自分で限界を作らずにあきらめず挑戦することが大事なんです。」と熱っぽく語りかけます。水泳選手としては年齢的にはピークを過ぎたと思われるがちですが、その「ことば」を実証するかのように、この8月のパンパシフィックの競泳では、自己ベストの2分6秒52を出し、日本新で銀メダルを取ったことを報告すると、会場からも思わず拍手が起きました。恥ずかしそうに「ありがとうございます。」と頭を下げる彼女の純真さ・謙虚さに心を打たれました。自己新を1秒以上も短縮したのですから、すばらしい記録です。

今回の講演は大変意義のあるものになりました。私たちは彼女の輝ける競泳歴に目を奪われて、さぞ彼女の水泳生活は順風満帆と思いがちですが、高校時代には記録が伸びず思い悩んだこと、ある選考会に漏れ大きな挫折を味わったことなどを知りました。それでも多くの挫折をのり越え、ひたすら努力に努力を重ね、今日につながったことを

教えてくれました。しかし、講演中にも自分の目標に対する強い意志が覗きます。そして、五輪出場決定後の過酷な高地トレーニングの話に及ぶと、その厳しさを思い出したかのように、彼女の目に涙が溢れました。「負けることは成長のチャンスです。」「練習だけが自信を与えてくれます。」「記録は自分ひとりのものではありません、人に対する感謝ということを忘れてはなりません。」ということばが特に印象に残りました。その後、学生から活発な質問がいくつかあり、関心の深さがうかがわれました。年齢的にも近いと、身近に感じられたことが良かったのではないかと思います。

平日の、しかも授業がある時間帯でしたが、プ



チテアトルはほぼ満員でした。図書館がはじめて企画した講演会を盛況のうちに終了できたことに対しご協力くださった

関係者の方々にお礼申し上げたいと思います。終了後、気楽に学生からのサインや写真撮影を楽しむ人なつっこさが中西ファンをいや増したことでしょう。後日、図書課長宛に今回の講演を聞いて「大変感銘を受けました。」という趣旨の礼状が一人の学生から届きました。この学生は今就職活動の最中だということです。



サービスの秘訣

檜山和司氏講演

11月3日(金) 13時00分から14時30分、図書館主催の第2回講演会がプチアトルで開催されました。檜山氏はプロのホテルエ、1996年度第1回メートル・ド・テルコンクール優勝者で、接客、もてなし方の第一人者です。話はサービスの実践と理論から構成されており、とても含蓄に満ちた説得力のある講演でした。

当日は館長の挨拶に続いて檜山氏の講演が始まりました。氏は若い頃から食文化を通して社会に貢献しようと決意したそうです。その後サービスに関心を持ち、本物のサービスとは何かを追求してきたということです。にこやかに語るかたり方、穏やかな自然の態度に会場は引き込まれていきました。そこで氏が強く主張するのは、サービスは仕事だということです。そこで、4人のレンガづくりの職人のはなしをされました。まず、レンガをつくる人、建物を考える人、そして、造る人、ここまでは、労働だということです。最終的には、その建物に皆が集まって幸せを感じあうことができることが大事だということです。このときはじめて、このレンガが「役立った」のであって、レンガをつくる目標・目的が達せられたと言います。仕事とはこの最終段階の、皆が幸せに感じるのを手助けするところに成立することであり、ここにサービスの真髄があると力説されます。



そして、サービスの根底には何よりも感謝の気持ちがないとできないということを「サービスの樹」を図示して強調されます。さらに、顧客価値には4段階があって4番目の「予想外価値」



—例えば、思いがけない驚きや喜び—を与えるところにサービスの本質があるのであって、ちょっとしたサービスの違いがどれほど人間関係を変えるかを示唆されました。最後に、サービスを向上させようと思うなら、人格と教養を磨くことを心がけ常に今の自分という商品に投資しなさい、と呼びかけて講演は終わりました。その後、質疑応答があって和やかな雰囲気では終了しました。

用意されたレジュメに従った1時間30分は氏の体験・経験に裏打ちされた講演でまさにあっという間に終わってしまった感があります。それほど内容がすばらしく聴き手の心を惹きつけるものでした。当日は、文化祭ということもあり、市民の方が多く来られ学生の参加が十分でなかったことは残念でしたが、檜山氏の講演を聞きつけて西宮から駆けつけた方もおられました。講演の後、「今日の先生の話聞いて仕事に対する意識が変わりました。」というのに代表される感想をもたれ満足して帰られた人が多かったことを最後にご報告します。



おもしろ図書館実行委員による図書の選定



学生の手を図書館運営に生かすためにスタートした『おもしろ図書館実行委員』、この委員のみなさんが図書の選定をおこないました。図書館の資料収集に学生の意見を反映させようと、読んでみたい本や授業・ゼミの参考資料として図書館にあればいいなあと思う本など、約470冊を選びました。利用者の方には、図書館の資料は誰が選んだのか分かりませんが、委員の方の選んだ図書は、既に、利用者の方の目にとまり、喜ばれていることでしょう。

ところで、新しく入った図書は館内のどこにあるかご存知でしょうか？

本館は2階普通図書フロアの「新着図書コーナー」、分館はメインカウンター前の新着図書専用ブックトラックに配置しています。

ただし、専門書はそれぞれの専門分野の書棚に直接、配架しています。

また、学生の方からの図書の購入希望は、これまでどおり、受け付けています。メインカウンターにお申し出ください。



INFORMATION

図書館カレンダー (2007年1月～3月)

本館(寝屋川校地)						
2007年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
2007年2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			
2007年3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	9	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

分館(枚方校地)						
2007年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
2007年2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			
2007年3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	9	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

【表示凡例】 黒字 開館時間 9:00～19:00

黒字 開館時間 9:00～16:50

赤字 開館時間 10:30～16:50

▼卒業見込者図書資料の返却最終期限

黒字 午後臨時閉館(開館時間9:00～13:00予定)

赤字 休日等による閉館

黒字 入試実施による臨時閉館

↔ 棚卸のため終日休館予定

※都合により、臨時閉館することがありますので、ご注意くださいをお願いします。

編集後記

新しい年を迎えました。皆様にとって、今年はどんな年になるのか楽しみです。

今年こそ！と決意を新たにされていることでしょう。その中に、是非、「図書館書評大賞に応募」を加えてください。中西悠子さんも言うておられます。「夢を実現するにはあきらめずに挑戦すること」と。図書館はそんな皆様のお役に立ちたいと、今年も頑張ります。



摂南大学図書館報「としょかんだより (学而)」No.84 2007.1

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

印刷 サツキ印刷株式会社 〒572-0024 大阪府寝屋川市石津南町8-2 TEL.(072)828-0171